

カトリック河原町教会だより

2017年11月

“モンロイ神父に心から感謝” 桃山教会で司式の主日ミサ



2015年4月に洛東ブロックに着任後、4つの教会のために熱心に奉仕して下さったホセ・モンロイ神父が、10月23日京都を離れ、30日に母国メキシコに帰国されることになりました。モンロイ神父司式の「洛東ブロック合同ミサ」としては最後となる15日の主日ミサは、「病者のためのミサ」としてささげられました。桃山教会に集った信徒はこの日、特に病者のために祈り、ミサにおいて4名の信徒が神父から病者の塗油の秘跡を受け、恵みと励ましを与えられました。

ミサの後、モンロイ神父は、「夏に、メキシコに帰国した時の健康診断で病気が見つかり、やむなく帰国療養することになりました。遠く離れますが、キリストの枝につながる私たちは霊においてひとつです。だからお互いに祈り合いましょう。主は必ず私たちを救ってくださいます。キリストにしっかりつながっていきましょう」とお別れの挨拶をされました。**モンロイ神父様、本当にありがとうございました。**



死という恵み

私たちは、「死」という恵みをいただいている。死があるから、すべての生命が、一人ひとりの人生が、毎日の生活が、大切なもの、大切なこととなる。いのちは、死という限りがあるから、大切なのである。

私たち人間のすばらしさは、いのちに限りがあると悟れることである。この悟りこそ、知恵であるといえる。そして、限りあるいのちをどう生きるかを問い続けることが、宗教であり、祈りであるといえる。

限りあるいのちをどう生きるか。繰り返すことができない今を、今日を、この人生をどう生きるか。そして、同じように限りがある周りのいのちと、どのようにして共に生きていくか。こうした問いかけから、いのちを大切にす、いのちを大切にしようという愛が生まれる。愛されているよこび、愛せないという苦しみ、愛したいという回心が生まれる。



洛東ブロック担当 一場 修 神父

死は恵みである。死があるから、生きることができる。限りある、大切ないのちを生きることができる。自分のいのちだけでなく、周りのいのちを大切にしながら生きていくことができる。

私たちは今、教皇フランシスコの『ラウダート・シ』を学んでいる。地球という限りあるいのちを見つめながら、すべてのいのちが、どうしたら共に生きていくことができるかという問いかけをしながら学んでいる。

11月、私たちは、すべての死者のために祈りをささげる。限りあるいのちを生き抜いた人たちを思い起こし、一人ひとりのいのちに感謝をささげる。限りあるいのちがいかに大切であるかを、新たに心に刻みこむ。死を恵みとして受けとめ、その死がもたらす永遠のいのちへの信仰を新たにす。自分自身を含めた、すべてのいのちへの愛を深める。

敬老感謝ミサとなごやかな懇親会のひと時 9.17

9月17日10時半から、今年も75歳以上の信徒の方々が集い、敬老感謝ミサと懇親会が行われました。ミサは小川神父司式によるもので75歳以上の信徒130名が参加しました。この日のミサの第一朗読は、今年101歳を迎えた瀧野徳太郎氏が担当されました。

ミサ後の懇親会には65名が参加し、小川神父と一場神父と共に楽しく和やかなひと時を過ごすことができました。



小川神父の挨拶



フィリピン共同体の方々の歌とダンス



瀧野さんのスピーチ



一場神父の挨拶

あなたたちは生まれた時から負われ、

胎を出た時から担われてきた。

同じように、わたしはあなたたちの老いる日まで

白髪になるまで、背負って行こう。

わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す。

(イザヤ46・3-4)

迷子になった詩～「あしあと」

マーガレット・F・パワーズ作

よく知られたこの詩は、1964年にアメリカ人女性マーガレット・F・パワーズによって書かれたそうです。一家が引越しの最中運送会社が倒産し、この詩は荷物と一緒に行方不明になり、その後誰かの手によって「作者不詳」のまま世に広まったと言われています。その後、この詩を「慰めに」と願った看護師が読み聞かせたのが、病床の夫ポールでした。それによって詩の作者は妻マーガレットであることが明らかになったという、少し不思議な経緯をたどった詩だそうです。今も年代を超えて、多くの人の心を慰める「迷子になった詩」です。(編集委員)

ある夜、わたしは夢を見た。

わたしは、主とともに、なごさを歩いていた。

暗い夜空に、これまでのわたしの人生が映し出された。

どの光景にも、砂の上にふたりの足あとが残されていた。

一つはわたしの足あと、もう一つは主の足あとであった。

これまでの人生の最後の光景が映し出されたとき、わたしは、砂の上の足あとに目をとめた。

そこには一つの足あとしかなかった。

わたしの人生でいちばんつらく、悲しい時だった。

このことがいつもわたしの心を乱していたので、

わたしはその悩みについて主にお尋ねした。

「主よ、わたしがあなたに従うと決心したとき、

あなたは、すべての道において、わたしとともに歩み、

わたしと語り合ってくださいと約束されました。

それなのに、わたしの人生のいちばんつらいとき、

一人の足あとしかなかったのです。

いちばんあなたを必要としたときに、

あなたがなぜ、わたしを捨てられたのか、

わたしにはわかりません」

主は、ささやかれた。「わたしの大切な子よ、

わたしはあなたを愛している。

あなたを決して捨てたりはしない。

ましてや、苦しみや試みのときに、

足あとが一つだったとき、

わたしはあなたを背負って歩いていた」



教皇フランシスコ回勅『ラウダート・シ』 「読書会」開始のお知らせ

◆開催日時: 毎月第2・第4木曜日
14:00~15:30

◆場所: 河原町教会 1階集会室

◆持ち物: 回勅『ラウダート・シ』
(カトリック中央協議会版/¥1400)



『ラウダート・シ』の表題は、アシジの聖フランシスコの「太陽の賛歌」の中の「ラウダート・シ、ミ・シニョーレ」(「私の主よ、あなたはたたえられますように」の意)という言葉から取られたものです。この回勅が出版されてから、すでに2年が経ちました。

河原町教会でも、「読書会」が11月9日(木)午後2時から始まります。この回勅を少しずつ読むことを通して、神様が私たちに問いかけておられることは何であるのかに心を向け、探してみませんか。

読書会は、ノートルダム教育修道女会のシスター・メリー・レベッカが指導していただきます。(右上写真)

シスターはグアムにおいて9年間、米国ミズリー州セントルイスを中心に、イリノイ州、ウィスコンシン州で長年にわたる教育活動に奉仕され、2年半前に帰国されました。米国在住中に回勅『ラウダート・シ』に出会い、深い洞察により、教皇回勅を通して神様が現代を生きる私たちに何を伝えようとしておられるのかを、さまざまな視点から深めてこられました。

楽しく、笑顔の素敵なシスターを囲む「読書会」です。
お気軽にご参加ください。

河原町教会10月評議会議事録要約

司祭団から=①10/15「洛東ブロック病者のためのミサ」が桃山教会で開催 ②10/23(月)~27(金)教区司祭黙想会に菅原神父参加のため不在。一場神父は教区に滞在 ③10/29~11/2一場神父黙想会不在 ④来年度ブロック年間計画を要検討 ⑤ホテル再開発とカトリック会館建て替えについて、具体的には未定

敬老感謝ミサ・懇親会=9/17、台風の影響が危惧されたが多数参加で無事終了

各部会報告=(1)典礼部=①10/1・14:00から「納骨堂・永代納骨者追悼ミサ」司式は花井神父と大塚神父 ②11/5・14:00「物故者追悼ミサ」司式:大塚司教・花井神父・北村神父 (2)財務部=維持費納入対策を検討中。ホテル再開発決定に伴い依頼文を修正 (3)教育部=①土曜学校:①10/7~毎週「みんなでロザリオ」を祈る。②10/21ウォーカーソン支援先・ブルキナファソの洪水被害について学ぶ(講師:ウィリアム神父) ③10/22・29にウォーカーソンスポンサー集め ④11/3ウォーカーソン参加 ⑤11/11からクリスマス会準備 ②中高生会:①9/24コーヒーショップ(メキシコ地震復興支援)は終了 ②10/22遠足(茨木教会と国立民族学博物館) ③信徒養成:①待降節黙想会開催12/2・10:00(指導:菅原神父) ②「主日の福音を読む集い」毎日曜日9:30~10:15 ④ブロック合同教育部会:11/12・14:00来年度「中高生のつどい・青年のつどい」について協議予定 ⑤キリシタン研究会:10/6・15:00秋の巡礼予定 ⑥ザビエル訪れ会:9月は活動休止 (4)施設管理部=10/15・9:30部会開催予定 (5)広報部=①教会だよりの隔月発行案を広報部内でさらに検討する。

行事予定=4ページ行事予定欄に記載

協議事項=(1)ホテル再開発・カトリック会館建て替えについて:①ホテルは2018年1月末で閉業②建物取り壊しと共に会館内の教区関係は移転となる。③新運営会社との交渉は10月から開始。交渉窓口となる委員会設置予定 (2)2017年度会計・2018年度予算について:①各部会は11/19までに2017実績と2018活動予定と予算を提出する。②12月評議会で①の集計結果を報告 (3)2018年度役員選挙:①12/3実施②前年度選挙管理委員に依頼 (4)クリスマス実行委員会①実行委員長:李家氏。委員:越知氏・杉本氏②市民クリスマス(司式:菅原神父)③前庭電飾を新調④ポスターも検討中

その他=①諸死者追悼ミサ11/2・18:30②10/1から祈り希望者と写真の募集開始③第38回京都南部ウォーカーソンは11/3。ぶどうの会が手伝い④ミサ前の祈りを「災害支援」から「平和のための祈り」に変更する予定⑤クリスマスチャリティーコンサート、バザー、募金活動の送金先について、役員会で検討する。

♪クリスマスチャリティーコンサート♪

日時:12月17日(日)15:00(14:30開場)

会場:カトリック河原町教会聖堂

入場料:1,000円(小学生以下無料)

出演予定

合唱:聖母学院小学校合唱部

ハンドベル:京都ノートルダム女子大学

ソプラノ二重唱:東朝子・橋本仁子

パイプオルガン:桑山彩子

合唱:河原町教会聖歌隊



※ 支援送金先は11月評議会で決定されます。

◇ 2017年 11月・12月の行事予定 ◇
(12月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
11	1	水	[諸聖人]
	2	木	[死者の日] 諸死者追悼ミサ 18:30
	3	金	第38回京都南部ウォーカーソン 9:30
	5	日	評議会11月例会 10:30ミサ後 物故者追悼ミサ(衣笠教会) 14:00
	12	日	七五三のお祝い 10:30ミサ
	19	日	聖書週間(26日まで)・貧しい人のための世界祈願日
12	26	日	[王であるキリスト]
	2	土	河原町教会待降節黙想会 10:00~16:00
	3	日	[待降節第1主日] 評議会12月例会 10:30ミサ後 2018年度教会役員選挙日 宣教地召命促進の日(献金)
	8	金	[無原罪の聖マリア]
	10	日	菅原友明神父霊名(アンノ12/5記念日)のお祝い 7:00
	17	日	クリスマスチャリティーコンサート 15:00
	24	日	クリスマス市民の集い 18:30 主の降誕夜半ミサ 21:00
	25	月	[主の降誕] ミサ 7:00・10:30 英語ミサ 12:00

河原町教会「待降節黙想会」のご案内

日 時：2017年 12月2日(土) 10:00~16:00

テーマ：「待降節の福音を読む」

指導司祭：菅原 友明 神父 (洛東ブロック担当)

会 場：河原町教会聖堂

[プログラム]	10:00~11:00	ゆるしの秘跡 (個人黙想)
	11:00~12:00	講話と黙想
	12:00~13:00	昼 食
	13:00~14:00	講話と黙想
	14:00~15:00	ゆるしの秘跡 (個人黙想)
	15:00~16:00	ミ サ

【持ち物：聖書と筆記用具/昼食：各自】



第1回 貧しい人のための世界祈願日(年間第33主日)

いつくしみの特別聖年(2015年12月8日~2016年11月20日)の閉年にあたり公布された使徒的書簡『あわれみあるかたと、あわれな女』(2016年)で教皇フランシスコは、年間第33主日を「貧しい人のための世界祈願日」とするよう決めました。

ご自分を小さい者や貧しい者と等しい者とみなされたキリストに倣い、わたしたちも、貧しい人、弱い立場にある人に寄り添い、奉仕するよう求められています。

不平等や不正義のない世界の実現に向けて、具体的なわざを通して神のいつくしみのあかし人となれるよう、祈り求めています。

[新しい世界祈願日に関する教皇メッセージは中央協議会HPに掲載されています]

河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

火曜日 6:30

水曜日 6:30

木曜日 6:30

金曜日 18:30

土曜日 6:30 18:30

(主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室)

水曜日 15:00 (祝休)	一場 修 神父
木曜日 19:00 (祝休)	一場 修 神父
金曜日 10:30 (祝休)	一場 修 神父
19:15	村上 透磨 神父

金曜日 17:30 (洗礼準備講座) 菅原 友明神父
※ご希望の方は教会事務室までご連絡ください

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】第1土曜日 19:30~20:30

菅原 友明神父

【伏見教会】毎火曜日 10:00ミサ後~11:30

一場 修神父

(新) 毎木曜日 14:00 菅原 友明神父

【桃山教会】毎火曜日 15:00 菅原 友明神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(6F会議室/毎月1回水曜日)

大塚 乾隆神父「典礼を学ぶ」

11月 1日(水) 10:30~11:50

12月 6日(水) 10:30~11:50

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室/毎月1回木曜日)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

11月16日(木) 休講

12月14日(木) 休講

テキスト：『カトリック教会のカテキズム要約』

◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日 9:30~10:15

※どなたでもお気軽にご参加ください。